

世帯の主たる生計維持者の所得・収入状況表

① 世帯の主たる生計維持者の令和3年中の合計所得金額が1,000万円以下である。

1,000万円を超えている場合は申請不可

② 世帯の主たる生計維持者に令和3年中に所得の種類が複数あった場合、令和4年中に30%以上収入減が見込まれる収入に対応する所得以外の所得合計が400万円以内である。

400万円を超えている場合は申請不可

③ 世帯の主たる生計維持者の、令和4年中に30%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額

④ 世帯の主たる生計維持者の、③の収入に対応する令和3年分の収入額

令和4年中の収入予測額

1-A	⑦給与収入		
令和4年①	月から②	月③	ヶ月分
④			
円			

令和3年分の収入額
1-B 給与収入
⑤
円

$$\frac{\text{⑤}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = \text{⑥} \text{ 円}$$

$$\frac{(\text{⑥} - \text{④}) \div \text{⑥}}{\text{令和4年の給与収入が令和3年に比べて減少した割合(給与収入)}} = 1 \text{ ②}$$

2-A	⑦事業収入		
令和4年①	月から②	月③	ヶ月分
④			
円			

2-B 事業収入
⑤
円

$$\frac{\text{⑤}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = \text{⑥} \text{ 円}$$

$$\frac{(\text{⑥} - \text{④}) \div \text{⑥}}{\text{令和4年の事業収入が令和3年に比べて減少した割合(事業収入)}} = 2 \text{ ②}$$

3-A	⑦不動産収入		
令和4年①	月から②	月③	ヶ月分
④			
円			

3-B 不動産収入
⑤
円

$$\frac{\text{⑤}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = \text{⑥} \text{ 円}$$

$$\frac{(\text{⑥} - \text{④}) \div \text{⑥}}{\text{令和4年の不動産収入が令和3年に比べて減少した割合(不動産収入)}} = 3 \text{ ②}$$

4-A	⑦山林収入		
令和4年①	月から②	月③	ヶ月分
④			
円			

4-B 山林収入
⑤
円

$$\frac{\text{⑤}}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = \text{⑥} \text{ 円}$$

$$\frac{(\text{⑥} - \text{④}) \div \text{⑥}}{\text{令和4年の山林収入が令和3年に比べて減少した割合(山林収入)}} = 4 \text{ ②}$$

⑤ 1給与収入	1 ② × 100 =	%
2事業収入	2 ② × 100 =	%
3不動産収入	3 ② × 100 =	%
4山林収入	4 ② × 100 =	%

減少の割合が30%以上の項目に対応する所得の合計額、及び被保険者の属する世帯の、世帯主と被保険者全員の合計所得金額の合計が各々1円以上あれば減免される可能性があります。

世帯の主たる生計維持者の所得・収入状況表

記載例

様分

4年度減免用

下記の4項目の収入のうち、令和4年中の収入が令和3年分の収入と比較して30%以上減収の見込みとなる項目に記入してください

- ① 世帯の主たる生計維持者の令和3年中の合計所得金額が1,000万円以下である。
- ② 世帯の主たる生計維持者に令和3年中に所得の種類が複数あった場合、令和4年中に30%以上収入減が見込まれる収入に対応する所得以外の所得合計が400万円以内である。
- ③ 世帯の主たる生計維持者の、令和4年中に30%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額
- ④ 世帯の主たる生計維持者の、③の収入に対応する令和3年分の収入額

1,000万円を超過している場合は申請不可

400万円を超過している場合は申請不可

各項目の①と④への記入で、令和4年中の連続した3か月以上の期間を記入し、④に該当期間での収入額を記入してください。

記入した数値には、それぞれその額、又は月数を証明する書類をご用意ください。

令和4年中の収入予測額

1-A ⑦給与収入	
令和4年①	②月から③月④ヶ月分
⑤	円

令和3年分の収入額

1-B 給与収入	⑥円
----------	----

2-A ⑦事業収入	
令和4年①	②月から③月④ヶ月分
⑤	円

2-B 事業収入	⑥円
----------	----

⑤に、①から④までの稼働期間を月単位で記入して下さい。

⑤に、確定申告書の写し、源泉徴収票などから令和3年分の該当収入額を記入して下さい。

$$\frac{⑤ \div 12 \text{ヶ月} \times ④}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = ⑧ \text{円}$$

$$\frac{⑧ - ⑥}{⑥} = 1 \text{⑦}$$

令和4年の給与収入が令和3年に比べて減少した割合 (給与収入)

$$\frac{⑤ \div 12 \text{ヶ月} \times ④}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = ⑧ \text{円}$$

$$\frac{⑧ - ⑥}{⑥} = 2 \text{⑦}$$

令和4年の事業収入が令和3年に比べて減少した割合 (事業収入)

例1

3-A ⑦不動産収入	
令和4年①	②月から③月④ヶ月分
⑤	400,000円

3-B 不動産収入	⑥ 3,000,000円
-----------	--------------

$$\frac{⑤ 3,000,000 \div 12 \text{ヶ月} \times ④ 4}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = ⑧ 1,000,000 \text{円}$$

$$\frac{⑧ 1,000,000 - ⑥ 400,000}{⑥ 1,000,000} = 3 \text{⑦} 0.6$$

令和4年の不動産収入が令和3年に比べて減少した割合 (不動産収入)

例2

4-A ⑦山林収入	
令和4年①	②月から③月④ヶ月分
⑤	200,000円

4-B 山林収入	⑥ 840,000円
----------	------------

$$\frac{⑤ 840,000 \div 12 \text{ヶ月} \times ④ 4}{\text{令和4年分の稼働月数に合わせた令和3年分収入額}} = ⑧ 280,000 \text{円}$$

$$\frac{⑧ 280,000 - ⑥ 200,000}{⑧ 280,000} = 4 \text{⑦} 0.2857$$

令和4年の山林収入が令和3年に比べて減少した割合 (山林収入)

⑤ 1給与収入	1⑦ × 100 =	%
2事業収入	2⑦ × 100 =	%
例1 該当する ⇒ 3不動産収入	3⑦ × 100 =	60 %
例2 非該当 ⇒ 4山林収入	4⑦ × 100 =	28.57 %

減少の割合が30%以上の項目に対応する所得の合計額、及び被保険者の属する世帯の、世帯主と被保険者全員の合計所得金額の合計が各々1円以上あれば減免される可能性があります。